

2.施工終了後

施工直後の処理

施工完了後は接着剤が十分に乾くのを待って、(目安→夏期:約1日、冬期:約2日)かくし釘の頭をとばして、その穴はフィルスティックで補修してください。

養生の仕方

施工後は木屑や砂・ゴミをきれいに取り除いて、ダンボール・ベニヤまたは養生カバー等で隙間なく養生してください。市販のガムテープ等は粘着が強く、化粧単板および塗装のハガシの原因になりますので、別売の養生テープ(ZY0211)をご使用ください。鼻の出裏面には養生テープを使用しないでください。

お手入れの仕方

階段が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強く搾ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

使用説明書の手渡し

同梱の「使用説明書」を使用される方にお渡しください。使用される方が不在の場合は、施主様に依頼するか製品に貼り付ける等により必ず使用される方に届けられるようご配慮願います。

〈 施工説明書 〉

リフォーム階段

株式会社 **ウッドワン** 〒738-0023 広島県廿日市市下平良1-12-1
商品相談窓口 フリーダイヤル **0120-81-3331**

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意① 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください

⚠ 注意 施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、転落の原因となり危険です。

・完全に硬化するまで昇降しない。

接着剤が完全に硬化するまで階段の昇降はしないでください。
既存の階段への固定が不十分ですと、踏鳴りが生じる場合があります。



必ずおこなう

・仕上げに12mmのフローアを重ね貼りする。

「リフォーム階段」は上階と下階に12mmのフローアを必ず重ね貼りしてください。
重ね貼りをしないと施工できませんので、ご注意願います。

・手すり・ブラケット取付時に

- 手すり(丸棒φ35mmは転落を防ぐため、次の点に配慮して施工してください。)
- (1) 勾配部分(踊場を含む)の手すりは、踏面高さより750mm程度としてください。
更に子供用手すりを取り付ける場合は、踏面より高さ600mm～650mm程度としてください。
 - (2) 手すり端部はぶついたりひっかいたりしないよう配慮してください。
 - (3) アプローチ部分にも手すりを付けてください。
 - (4) ブラケット(手すり受け)の取り付け間隔は、手すりが折れないよう900mm以下としてください。
 - (5) ブラケットは下地にしっかり固定してください。柱・間柱以外で固定する場合は、必ず下地に補強材を入れ補強してください。

・開梱後は換気を行う。

本製品は、ホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

次ページに続く

安全上のご注意②

注意 施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。

確認

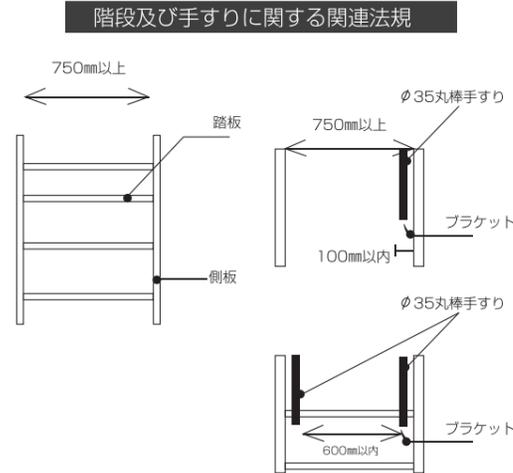
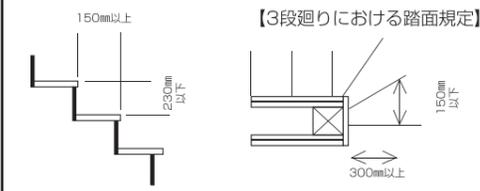
・既存階段と構造の状態を確認する。

「リフォーム階段」は既存階段の上から施工する化粧材です。構造のチェックをした上で、強度が心配される部分には補強を行ってください。
また、施工前に踏鳴りの有無等の確認も行うようにしてください。踏鳴りが確認されましたら、処理を行った上で、施工してください。

・階段及び手すりに関する法規を守る。

【建築基準法より】

- 有効寸法は側板内々寸法750mm以上を確保するように規定されています。
- 階段室には手すりの設置が義務付けられています。
- 階段室に丸型手すりをつける場合、突出する部分が100mmを超えない場合は階段中に算入することが可能です。予め、100mm以内になるよう確認の上取り付けてください。
- 両側に手すりを設ける場合においては一方の手すりの突端から他方の手すりの突端までの内のが600mm必要です。
- 3段廻りでは内側の狭い方から300mmの位置が有効踏面とされており、踏面は150mm以上が必要です。



お願い 安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

・無塗装でのご使用は、木材の汚れ、汚染が発生するおそれがありますのでお控えください。

お願い

本製品は踏板(廻り踏板・踊り場)・蹴込板のみの構成となっております。既存の階段の上から接着剤・釘で仕上げていただくタイプです。

開梱

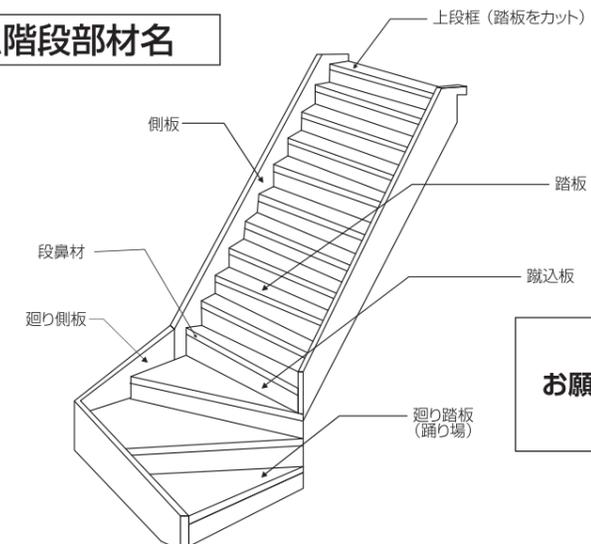
梱包を解いたら製品に不足および問題がないかどうかご確認ください。本製品は木質製品です。輸送中・施工中の水漏れは厳禁です。
開梱後、製品に水濡れなど不具合があった場合は必ず施工前にお買い求め店または弊社までご連絡ください。また開梱後は速やかに施工してください。

ササクレの防止方法

踏板・側板の切り込みカットされる場合は、基材のササクレを防ぐために、鉛筆などによる墨付けの後、カッターナイフ等で必ずケビキ処理をし、ノコノミ入れを行ってください。

施工の前に

リフォーム階段部材名



お願い

本書の内容は参考例です。既存住宅との兼ね合いがありますので、必ず現場監督・建築士等資格者にご相談の上で、仕様を決定してください。

現場でご用意いただくもの

- 下地材(既存階段の鼻の出と同サイズ)
※「鼻の出を無くした場合の納まり」のみ必要
(既存側板 高さ調整用)
- 木ネジ(φ5.1×32mm程度のもの)
- フロア用養生テープ
- 養生シート
- かくし釘(36mm)
- ウレタン系接着剤
- ピンネイル(L=15mm)
- フィニッシュネイル(L=35mm)
- 両面テープ
※「鼻の出を活かした場合の納まり」のみ必要
- 推奨接着剤: コニシボンド速乾ボンドG10

	品番
WOOD ONE指定接着剤	ZX0221(カートリッジタイプ)
コニシ製	KU-9L8R/L

*指定接着剤をお使いいただく際にはカートリッジガンが必要になります。

<接着剤塗布量の目安>

接着剤につきましては、下地合板の場合、400~500g/m²(直14段上り切り時)を目安としてください。

目安としては WOOD ONE 指定接着剤×2本となります。

根拠→ 0.85m×0.25m×14段×0.5kg÷0.76kg

張り面積	目安/m ²	容量/1本

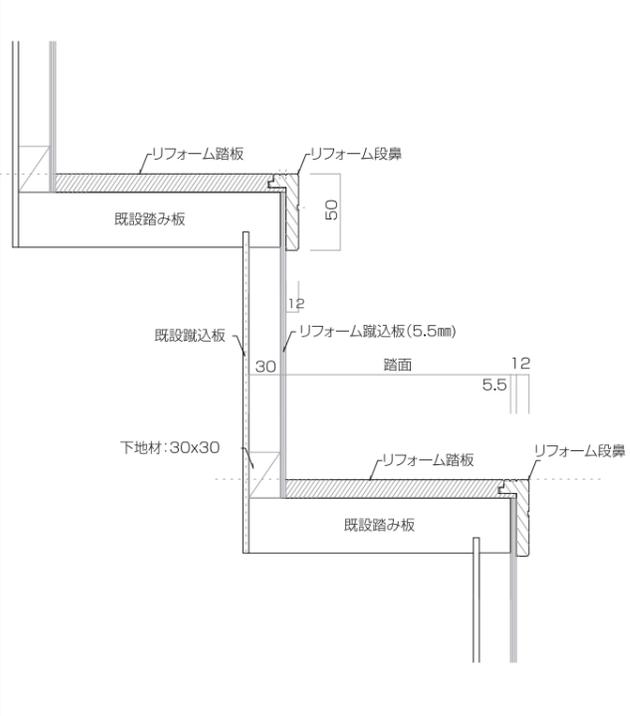
- 木工用接着剤
- クレヨンパテ(品番 ZY061●)
- コーキング剤(品番 ZY063●)

<壁際の納まり>

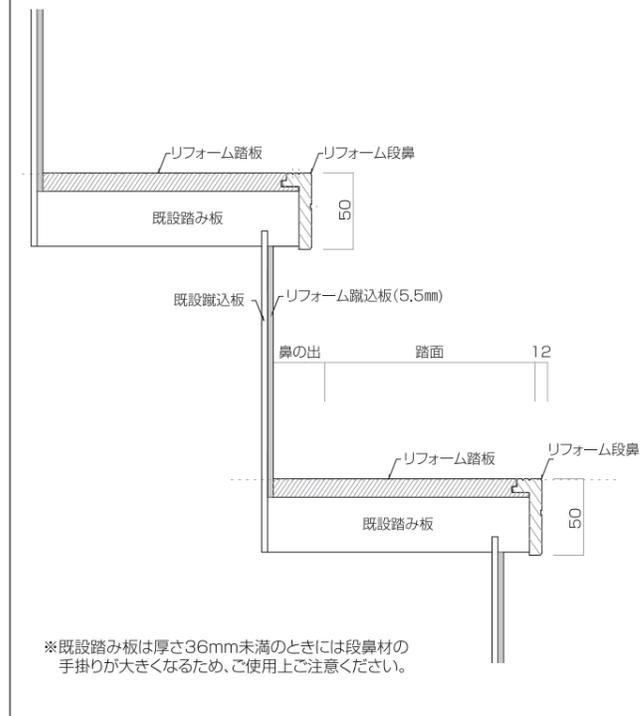
納まりに応じて、弊社対応部材もございます。

プレカット巾木 LH0361-□ チェルード 300×300×9mm(8枚入)
LH1261-□ オーク

【鼻の出を無くした場合の納まり】



【鼻の出を活かした場合の納まり】



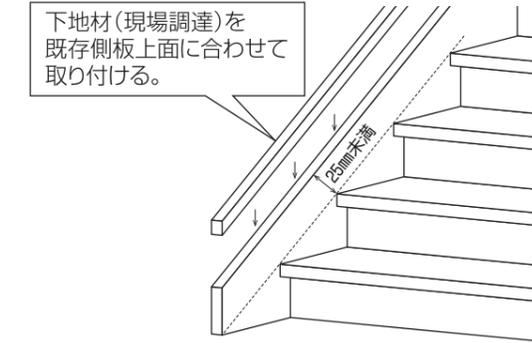
1. 施工手順

※リフォーム側板を使用しない場合は、次頁の「② 踏板の取り付け」から始めてください。

① リフォーム側板の取り付け

① 既存側板の寸法確認と 下地材(現場調達)の取付け

図の寸法が25mm未満の場合、リフォーム階段の取付け後に段鼻材が側板よりも飛び出してしまう。図の寸法を確認し、必要な幅の下地材(現場調達)を現場の側板に合わせて取付けてください。



※下地材はリフォーム側板と木口テープで化粧して仕上げます。

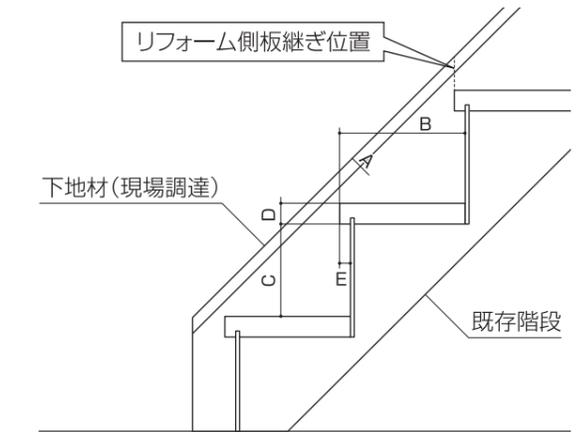
② 既存側板の採寸とリフォーム側板のカット

下地材取付け後に各段のA~Eの部位を採寸し、リフォーム側板裏面に下書きをしてカッターで切断してください。

Aの部位はリフォーム側板取り付け後に仕上げをしますので5mm程度の余裕を取ってください。

リフォーム側板は3~4段の長さでカットすると、カット後の調整や取付けがやりやすくなります。

リフォーム側板のつなぎ目は既存踏板の段鼻先(図参照)でつないでください。



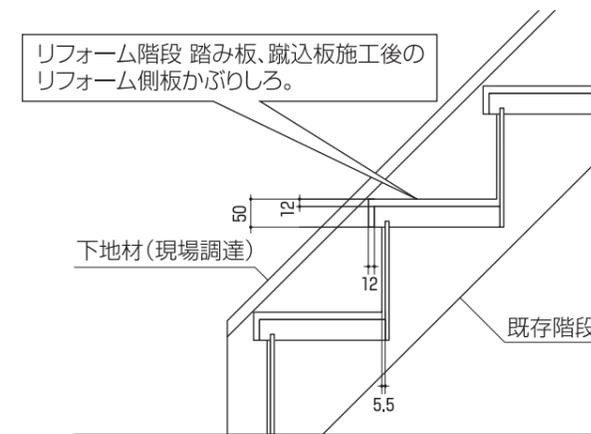
お願い

既存の階段では、各段で若干の寸法違いがある場合があります。A~Eの部位は、必ず1段ごとに採寸をしてリフォーム側板のカットをしてください。

③ リフォーム側板の寸法調整

カットした製品を既存階段に仮設置し、カット寸法の確認をします。

リフォーム側板と既存階段の突きつけ部分は、リフォーム踏板及び蹴込み板施工後に製品の厚み分(図参照)隠れますので、リフォーム踏板(12mm)、蹴込み板(5.5mm)の厚みを考慮してカット寸法の調整をしてください。



※鼻の出を活かした場合の納まり

④ リフォーム側板の接着

既存側板とリフォーム側板の接着面の両方にゴム系速乾接着剤(現場調達)を塗布し、隠し釘等で固定してください。

接着方法については、接着剤に明記されている使用方法、注意事項をご確認ください。

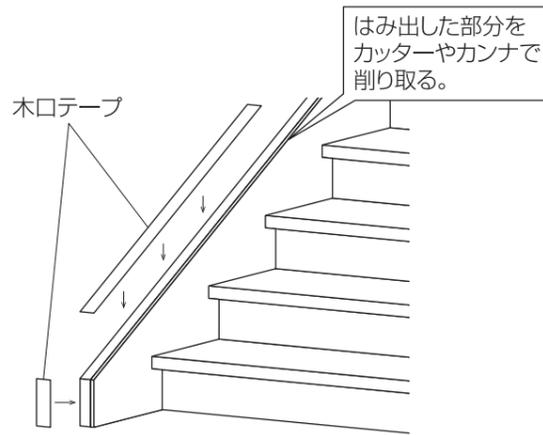
推奨接着剤: コニシボンド 速乾ボンドG10

お願い

リフォーム側板と既存側板の接着で浮きが生じないように、傷防止のためのあて木をしてハンマー等でしっかりと密着させてください。

⑤ 木口テープの取り付け

リフォーム側板の接着後、既存側板上面に合わせて余裕を見てカットした部分(図参照)をカンナなどで削り仕上げます。
 既存側板の上と木口面は、リフォーム側板と同様に同梱の木口テープをゴム系速乾接着剤(現場調達)で取付けてください。
 木口テープがはみ出した部分は接着材硬化後にカッターなどで削り仕上げをしてください。
 推奨接着剤: コニシボンド 速乾ボンドG10



お願い 木口テープと既存側板の接着で浮きが生じないように、傷防止のためのあて木をしてハンマー等でしっかりと密着させてください。

⑥ リフォーム側板つなぎ目の仕上げ

段差やすれ、隙間が生じた場合は、クレヨンパテ(別売品: ZY061●)、コーキング剤(別売品: ZY063●)で埋めてください。

② 踏板の取り付け

鼻の出を無くした場合の納まり

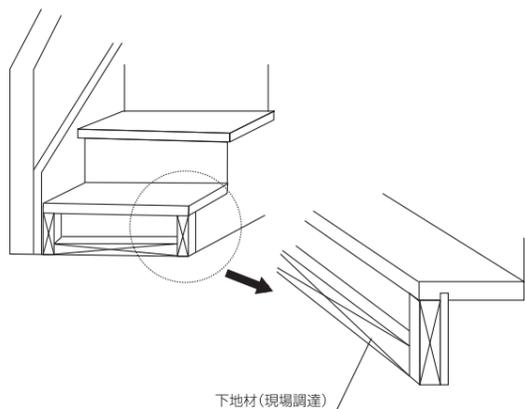
<施工を始める前に>

- ①カーペット・巾木等は必ず取り外してから作業を始めてください。
- ②既存階段の下地処理を行ってください。
 - 既存踏板の表面をサンダー等にて平滑にしてください。
 - 上り切り部分についても、既存上段框と2階フロアーの段差がある場合は同様に平滑にしてください。

注意 「リフォーム階段」は木造住宅向けのリフォーム専用製品です。金属・コンクリート下地の階段には施工しないでください。また、1階・2階ともにフロアー12mmタイプにて重ね貼りをしてください。

1 下地材の取り付け

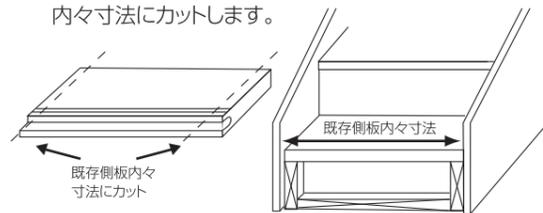
既存踏板の鼻の出寸法を採寸し、同寸法にて下地材(現場調達)を既存蹴込板の両サイド・下方へ廻してください。



2 踏板・蹴込板のカット

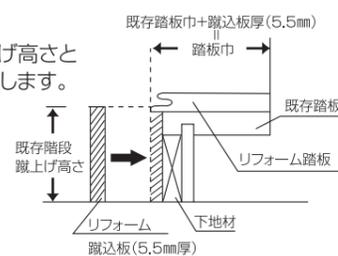
踏板のカット

リフォーム踏板を既存階段の側板内々寸法にカットします。



蹴込板のカット

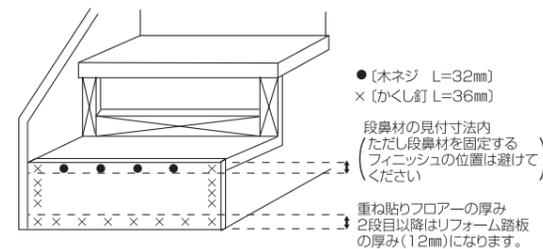
既存階段の蹴上げ高さと同じ寸法にカットします。



3 蹴込板の取り付け

下地材の上からリフォーム蹴込板を前面に取り付けてください。
 *蹴込の高さは、既存階段の蹴上げ高さにします。

木ネジ(L=32mm)とかくし釘(L=36mm)をそれぞれリフォーム踏板、段鼻材で隠れる位置で固定します。
 1段目の下側は重ね貼りするフロアーの厚みで隠れる位置で固定してください。



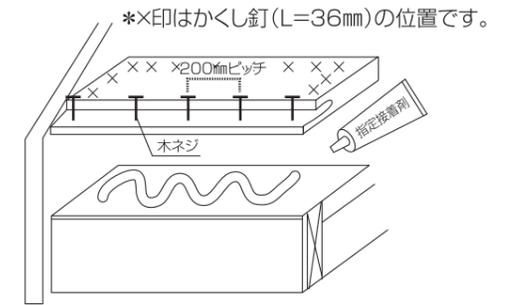
●(木ネジ L=32mm)
 ×(かくし釘 L=36mm)

段鼻材の見付寸法内(ただし段鼻材を固定するフィニッシュの位置は避けてください)

重ね貼りフロアーの厚み
 2段目以降はリフォーム踏板の厚み(12mm)になります。

4 踏板の取り付け

指定接着剤で踏板を貼り、木ネジ、かくし釘で固定します。



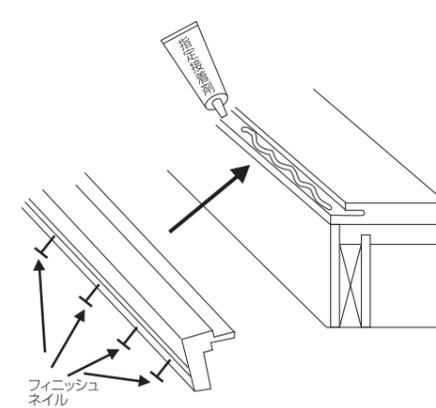
*×印はかくし釘(L=36mm)の位置です。

お願い

- 接着剤がはみ出したらすぐに、拭きとってください。
- かくし釘を打ち込む際には、木ネジの箇所と重ならないように注意してください。
- フィニッシュネイルの頭は必ずポンチで打ち込んでください。

5 段鼻材の取り付け

内々寸法にカットします。長さを確認しながら、踏板差込部に指定接着剤・フィニッシュネイル併用にて取り付けてください。

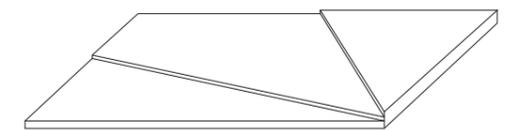


1段毎に①～⑤の繰り返しとなります。

※段鼻材施工後、接着剤がはみださないように、加減して塗布してください。

6 廻り踏板・踊り場の取り付け

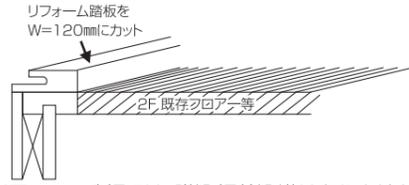
既存踏板の踏面と同様のサイズにカットします。(取り付けは①～⑤)



注意: 廻り階段の踏板に取り付ける段鼻材は、両側の小面の角度を壁面に合わせてカットしてください。

7 最上段(上段框)の施工

階段を上がり切り部まで仕上げたら、上段框として、リフォーム踏板巾をW=120mmにカットします。
(但し、現場での状況により若干調整が必要です)
カットした踏板を蹴込板の前面に合わせて取り付けます。



*リフォーム踏板には、蹴込板差込溝はありません。
④の踏板の取り付けと同様に、指定接着剤、木ネジ、かくし釘で固定してください。

2Fフローア重ね貼り不要の場合

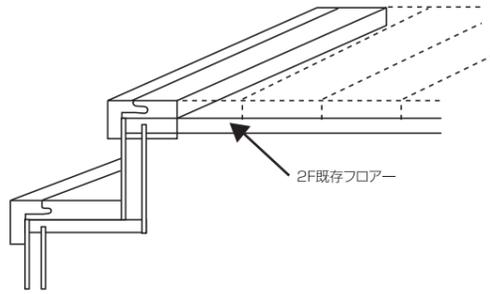
下記の床見切り材をご使用ください。

■床見切り材C型

長さ×幅×厚さ(mm)	品番
1,900×50×13	DHC7713-□

8 フローア(12mm)の重ね貼り

階段部分が全部貼り上がったら、重ね貼りフローア(12mm)を貼ります。



鼻の出を活かした場合の納まり

<施工を始める前に>

- ①カーペット・巾木等は必ず取り外してから作業を始めてください。
- ②既存階段の下地処理を行ってください。
 - 既存踏板の表面をサンダー等にて平滑にしてください。
 - 既存蹴込板は指定接着剤塗布に際して、サンドペーパーで目立してください。
 - 上り切り部分についても、既存上段框と2階フローアの段差がある場合は同様に平滑にしてください。



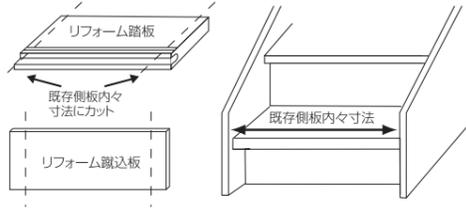
注意

「リフォーム階段」は木造住宅向けのリフォーム専用製品です。
金属・コンクリート下地の階段には施工しないでください。
また、1階・2階ともにフローア12mmタイプにて重ね貼りをしてください。

1 踏板・蹴込板のカット

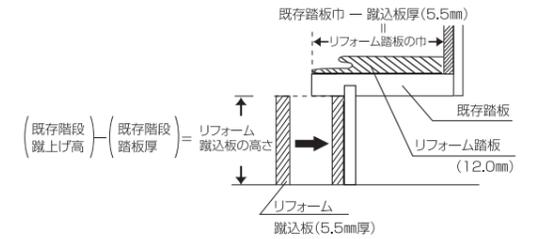
踏板、蹴込板横巾カット

リフォーム踏板、リフォーム蹴込板を既存側板内々寸法にカットします。



踏板、蹴込板奥行高さカット

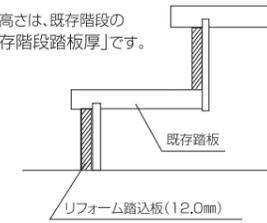
リフォーム踏板及びリフォーム蹴込板を右図の寸法でカットします。



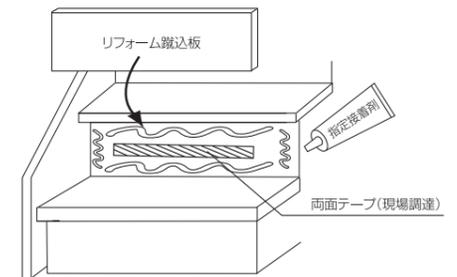
2 蹴込板の取り付け

(既存蹴込板はサンドペーパーで目立たした状態にしておいてください。)

リフォーム蹴込板の高さは、既存階段の「蹴上げ高さ-既存階段踏板厚」です。



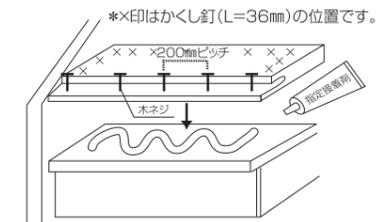
既存蹴込板表面を、接着剤がしっかりとつくようにサンドペーパーにて目立してください。
指定接着剤塗布前に、蹴込板仮止め用の両面テープ(現場調達)を中央付近に貼り、外周部分へ適量、指定接着剤を塗布し接着してください。



*リフォーム蹴込板施工後、接着剤がみださないように加減して塗布してください。

3 踏板の取り付け

指定接着剤で踏板を貼り、木ネジ、かくし釘で固定します。



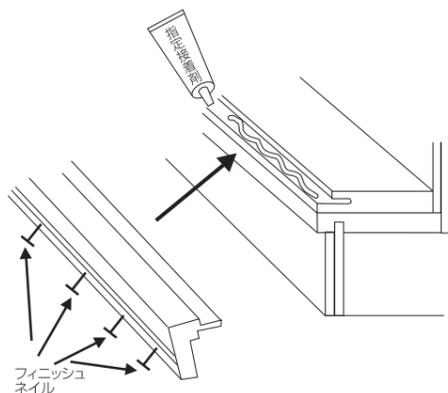
*リフォーム踏板施工後、接着剤がみださないように加減して塗布してください。

お願い

- 接着剤がみだしたらすぐに、拭きとってください。
- かくし釘を打ち込む際には、木ネジの箇所と重ならないように注意してください。
- フィニッシュネイルの頭は必ずポンチで打ち込んでください。
- 木ネジの施工は、下穴をキリであけてから固定してください。

4 段鼻材の取り付け

既存側板の内々寸法にカットします。
長さを確認しながら、踏板差込部に
指定接着剤・フィニッシュネイル併用
にて取り付けてください。

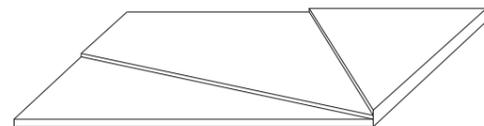


1段毎に①～⑤の繰り返しとなります。

※段鼻材施工後、接着剤がみださないように、加減して塗布してください。

5 廻り踏板・踊り場の取り付け

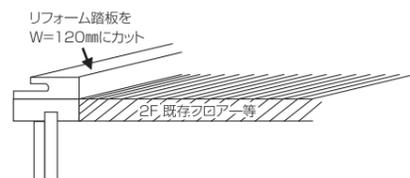
リフォーム蹴込板を取り付けた後の既存廻り踏板的
踏面と同様のサイズにカットします。
(取り付けは①～⑤)



注意: 廻り階段の踏板に取り付ける段鼻材は、両側の
小面の角度を壁面に合わせてカットしてください。

6 最上段(上段框)の施工

階段を上がり切り部まで仕上げたら、
上段框として、リフォーム踏板巾を
W=120mmにカットします。
(但し、現場での状況により若干調整が必要です)
カットした踏板を既存上段框の前面に合わせ
て取り付けます。



※リフォーム踏板には、蹴込板差込溝はありません。
④の踏板の取り付けと同じように、指定接着剤、
木ネジ、かくし釘で固定してください。

2Fフローア-重ね貼り不要の場合

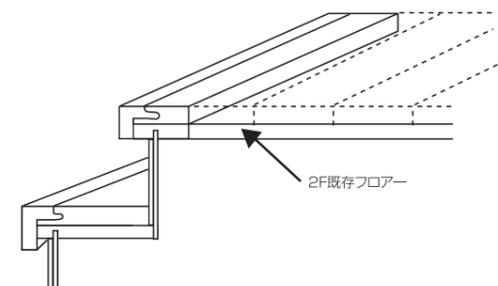
下記の床見切り材をご使用ください。

■床見切り材C型

長さ×幅×厚さ(mm)	品番
1,900×50×13	DHC7713-□

7 フローア- (12mm)の重ね貼り

階段部分が全部貼り上がったら、
重ね貼りフローア- (12mm)を貼ります。

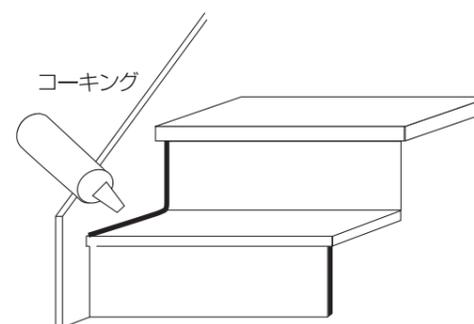


仕上げ

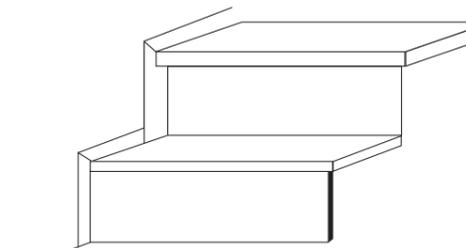
8 壁際の納め方

隙間の処理

<既存側板納め>
隙間はコーキング材で処理してください。



<巾木納め>
巾木(別売)で隠します。



*巾木は「プレカット巾木」を
別途ご発注の上、仕上げてください。

お願い 鼻の出裏面には養生テープを使用しないでください。

注意 壁際に隙間ができないように、コーキング等で充填してください。